



奈良大宮ロータリークラブ

Club Weekly Bulletin

発行日 2020年11月10日

2020-2021/15

Vol.42
No. 1977

2020-21年度 RIテーマ



ロータリーは機会の扉を開く

RI会長 ホルガー・クナーク

地区スローガン

「ロータリーの原点に返る」

誠意をもって語り合い、
勇気をもって共に未来へ

RI第2650地区ガバナー

松原 六郎

- 創立：1979年1月23日
- 例会：毎週火曜日 17:30～18:30
- 例会場：奈良ホテル本館
奈良市高畠町1096番地 電話 (0742) 26-3300
- 事務所：奈良市大宮町6丁目3-7 中室ビル3F
電話 (0742) 33-8583 FAX (0742) 33-8600
hp : <http://www.naraomiya-rc.jp>
E-mail : info@naraomiya-rc.jp
- 会長：多田 実 ■副会長：高野 治 ■幹事：水野 憲治

会長の時間

多田会長

最高裁判所の裁判官について



皆さん、改めてこんばんは。アメリカ大統領・特朗普は、亡くなつたリベラル派のギンズバーグ判事の後任として保守派のバレット判事を最高裁判所の判事に指名したことが話題となっています。

アメリカ合衆国最高裁判所は、その長官である首席判事（日本の最高裁長官）と8人の陪席判事の合計9人で構成されております。バレット判事が最高裁判事に就任すると保守派6人（共和党）、リベラル派3人（民主党）となります。

主席判事と陪席判事は、大統領が指名し、任命します。任命には上院による助言と同意が必要とされております。主席判事と陪席判事は、いずれも終身制で、本人が死去又は自ら引退するまで、その地位は保証されています。また、アメリカでは主席判事と陪席判事はそれぞれ別個に任命されることになっており、長官が死去又は引退した場合には外部から新たな長官が任命されるのが普通のようあります。日本では現職の最高裁判事が最高裁長官に昇格することが多いのであります。

例会プログラム

第16回11月10日

米山奨学生卓話
通算1978回

1. 握手・挨拶
2. 開会点鐘
3. ソング
4. お客様紹介
孫 加龍 様
(ソン カリュウ)
米山奨学生 (平城京RC)
5. ビジター紹介
中窪 啓司 様
(ナカクボ ケイジ)
(平城京RC)
6. 会長の時間
7. 例会状況報告
8. 委員会報告
9. 幹事報告
10. 米山奨学生卓話
11. 謝辞
12. 閉会点鐘

例会状況報告

10月27日

通算1977回

◎本日出席者 58名
◎本日出席率 93.44%

10月13日

通算1975回の修正

◎出席率 100%
◎補填前欠席者 4名
◎欠席補填者 4名

日本の場合、最高裁判事は、最高裁長官と最高裁判事14名の合計15人で構成されています。最高裁の法廷には、15名の裁判官全員で構成する大法廷と5人の裁判官で構成する3つの小法廷があります。最高裁判事のうち、最高裁判所長官は内閣の指名に基づき天皇が任命します。それ以外の最高裁判事は、内閣が任命し、天皇が認証します。最高裁判事の定年は70歳であります。アメリカのように終身制ではありません。因みに、簡易裁判所の裁判官の定年は最高裁判事と同じ70歳であり、それ以外の裁判官の定年は65歳です。

ロータリアンには、定年はありませんので、末永くロータリーライフを楽しんで頂けたら、ありがたいなと思っています。以上です。

指名委員会開催の通告

多田会長

指名委員会開催の通告



それでは、只今より奈良大富ロータリークラブ細則第3条第1節(A)、会長は臨時総会の1ヶ月前の例会において指名委員会の開催の通告をする等に基づきまして、指名委員会の開催を通告いたします。同じく細則第3条第1節(B)でクラブの定めの指名委員会は7名とし、会長・会長エレクト及び前5代の会長とする。委員長は最先任会長が務めるとありますので、指名委員会は福本良平さん・潮田悦男さん・藤井正勝さん・武藤廣茂さん・増井義久さん・中鳩大さん、そして私多田の7名であります。委員長は福本良平さんであります。それでは、福本指名委員会委員長、よろしくお願ひ致します。

福本指名委員長
指名委員長挨拶



今、会長からありました様に本日、例会終了後第1回の指名委員会を大和の間、隣の部屋で行います。委員の方はご出席、よろしくお願ひ致します。そして、次々年度会長に立候補をされる会員は一週間以内に指名委員会に書面でもって申し出て下さい。尚、会長立候補者の資格は理事・役員を3期以上経験した会員です。また、年次総会の一週間前である2020年11月24日の例会において次年度会長、次年度副会長、幹事、会計、会場監督、その他5名の理事の指名を告知致します。以上です。ありがとうございました。

委員会報告

成田委員長（米山奨学）
米山奨学金特別寄付の件



皆さま、こんばんは。10月は米山月間でございました。米山奨学金への多額のご寄付、ありがとうございました。まだ、ご寄付の方される予定でございますが、まだという方がございましたら、私か、若しくは事務局の方にお声掛けを頂ければと思います。よろしくお願ひ致します。

中奥副幹事
ロータリーリーダーシップ研究会パート1参加の件



10月18日と24日にロータリーリーダーシップ研究会に参加をして参りました。Zoomによる開催で参加者は次年度に会長・幹事をされる方が多かったように思います。その中で色々なクラブの話も聞けて、大変良い機会になったと思います。パート1が終わりまして、次パート2が年末にありますので、また参加してきます。以上、報告とさせていただきます。

宮西委員長（職業奉仕委員会）
地域別職業奉仕担当者懇談会参加の件



皆さん、こんばんは。先日、地区主催の地域別職業奉仕担当者会議が権原で行われました。会議は実際に集まる会議とZoomによる会議が同時並行で開催されました。県下14クラブあるんですけれども5クラブの方が実際に来られ、9クラブの方はZoomで参加されました。会議では地区の委員長から職業奉仕に関する最近のロータリー章典や手続要領を元にご説明されまして、その後実際に集まつたメンバーとZoomで会議してあるメンバーが職業奉仕に関する情報交換という事で、RLI方式で開催されました。私は直接会場に行きましたけれども、皆さんとお話ししている中で、色々な意見があつて職業奉仕に関する思いであるとか、意見は何が正しくて何が間違っているっていうのは、多分そうないんですけども、いずれにしましても比較的入会の浅いメンバーの方に基本的な内容をお伝えする機会は必要なのかなと。差し出がましいんですけど、私もこの間5年未満の会員様がこのクラブに何人位おられるのか数えました。そうすると、約30%位の会員様が5年以内という事でございましたので、職業奉仕委員会として定期的な討論会を開催するとか、講習会等も必要なのかなと改めて感じました。尚、武藤さんがガバナー補佐として出席されておられまして、立派なご挨拶・立派なご発言をされておられた事も併せてご報告させて頂きます。以上です。

幹事報告

回覧

- ・11/10、11/17の例会、第2回家族親睦例会・第2回親睦ゴルフ出欠表の件

その他

- ・11/3例会休会（次回例会11/10）

- ・クールビズ（10月末まで）、10/24世界ポリオデー募金箱の件（11月末まで）

新入会員卓話

菊野 和洋君（新入会員）



皆さん、こんばんは。6月に入会させて頂きました菊野でございます。今日は、貴重な時間をありがとうございます。よろしくお願ひ致します。入会して、もう5ヶ月が経とうとしてるんですけども、コロナの影響でまだまだ、会社の方の成約がいろいろ厳しく、例会以外に中々出席することができなくて皆さんとお近づきになる機会も少なく申し訳ございません。ご容赦いただければと思います。今日は私が支社長を務めております明治安田生命・奈良支社のお話を少しさせて頂ければと思います。お手元の資料をご覧になりながらお聞きください。

明治安田生命では、現在、「ひとに健康を、まちに元気を」というキャッチフレーズのもと、「みんなの健活プロジェクト」、そして「地元の元気プロジェクト」という2つの取組みに力を入れています。まず、「みんなの健活プロジェクト」は、弊社にご加入いただいたお客さま、地域社会、そして弊社従業員の「健康増進」を応援・サポートする取組みで、いわゆる健康増進型と言われるような生命保険商品や、健康に役立つ様々なサービスをご提供したり、今はコロナの影響で限定的になっているが、地域住民の皆さま向けに健康づくりのためのイベントやセミナーを展開するものです。具体的には、資料中面にあるように、健康チェックイベント、毎年の健診結果から将来リスクを予測するレポート、健康診断結果でキャッシュバックを行なう商品、資料下段にあるJリーグと連携したウォーキングプログラムなどを展開しています。これらの健康への取組みは、私どもの商品・サービス、保険会社そのものが、「万が一のときや病気になったときのため」の存在から、「病気にならないため、健康を続けるため」にも役立つ存在に進化することを企図しています。ビジネス的には、お客さまが健康になれば、将来的に保険金や給付金の支払いが減り、保険契約も長く続くということで、私たち保険会社にとってもプラスとなる。お客さま、会社、それから地域社会のいずれにもメリットがある「三方よし」の取組みとなっています。なお、私どもはお客さまに健康への取組みをお勧めする以上、まずは我々従業員自身が健康にならないといけないということで、ウォーキングに力を入れている。弊社独自のスマートアプリを開発し、このアプリを使って、全国4万人以上の従業員がチーム単位で競いあうなど、日々ウォーキングに取り組んでいます。私ども奈良支社は、この4月以降、所属の平均歩数が大幅に伸びており、1日平均7000歩、営業組織では全国で3本の指に入る実績です。

そして、この「健活プロジェクト」とあわせて、この4月からスタートしたのが、「地元の元気プロジェクト」。こちらは、私たちが日本全国の地域地域を盛り上げ、元気にしていくために、市町村などの自治体と連携しながら、スポーツ振興や社会貢献という分野で存在感を示していきたいというものです。明治安田生命は、全ての都道府県に約100の支社があり、全国の市区町村に1000を超える営業拠点を配置。そして、それぞれの地域で、その地域に住むお客さまと、こちらも地域に住む営業担当者が、何十年もお付き合いしていく。生命保険の商品は全国共通、保険料も全国一律ではあるものの、実際に商品・サービスをお届けする私たちは、それぞれの地域で、その地域の方々に愛される存在、身近な存在になることが大切になります。この「地域で最も身近に感じていただける生命保険会社」になるために、この「地元の元気プロジェクト」では、全国にある支社単位で、その地域に根差した、その地域独自の様々な取組みを開拓しています。例えば、都道府県や市町村と連携協定を締結して、地域の健康増進や安心・安全づくりに一緒に取り組んだり、地元のお祭りを助成したり、スポーツイベントやボランティア活動を行なうなど、その取組みは様々で、色々な創意工夫をこらしながら全国に広がってきてているところです。

また、今回のコロナ禍によって地域社会にも大きな影響が生じているということで、この6月以降、「私の地元応援募金」という取組みを開拓。こちらは、全国の各支社において選定した団体、具体的には自治体や医療福祉系のNPO法人などに対して、明治安田生命グループの全従業員による募金を募り、会社本体からのおカネとあわせて、団体への支援として寄付するというものです。今回は、全国で約1200の団体に対して、総額で5億円規模の寄付を行なっており、この奈良支社では、奈良県・奈良市のほか、全部で12の自治体、そして、ひとり親支援を行なうNPO法人「おてらおやつクラブ」に対して総額413万円を寄付させていただいた。先日奈良新聞に掲載していただいた記事を添付しています。なお、奈良県下の団体に対する従業員の募金については、奈良在住または奈良勤務の職員からの募金に加えて、全国で働く奈良出身の職員や、過去に奈良で勤めたことがある職員など、この奈良にゆかりのある人間から募ったもの。自治体に寄付をした際には、この従業員からの募金が一番喜んでいただけました。

また、今回の寄付先のうち、「おてらおやつクラブ」についてご紹介すると、こちらは田原本町にある「安養寺」というお寺を中心になっている取組みで、お寺へのお供え物について、そのお下がりを頂戴し、それをおすそ分けとして、困窮するひとり親家庭にお送りするものです。おてらおやつクラブに、生活に困ったお母さんから電話やメールで連絡があれば、このSOSに対して、おすそ分けとして食料品や日用品を段ボールに詰めて発送している。今では、お寺へのお供えものだけではなく、この取組みに共感する地元の住民や農家、企業などから様々な寄付が届いており、また、この安養寺だけではなく、他のお寺を含めて、その支援のネットワークは全国に広がっています。私たち奈良支社としては、このおてらおやつクラブの取組みを知り、その活動の趣旨に共感したのはもちろん、お供え物・おさがり・おすそ分けという伝統的な行ないが、現代的な社会救済としてこの奈良から広がり、そして何よりこれらが「奈良らしい取組み」であると感じて、今回、活動を支援させていただくこととしたものです。

このような募金のほかにも、奈良支社では、地元JFLチーム「奈良クラブ」のスポンサーになっており、協働でサッカー教室を開催したり、市と一緒にスポーツイベント、健康イベントを開催したり、奈良のお祭りを支援したり、幾つかの企画を進めているところです。このプロジェクトの第一義は、日頃お世話になっている地元への恩返しであり、地元に元気になってもらうことだが、私どもとしては、その先に、地元での知名度・好感度の向上や、地域のお客さまの接点拡大につながる、つまりビジネスにもつながるものだと考え、これからも力をいれてていきます。

実は、私自身、この4月に奈良支社に転勤てくる前は、健活プロジェクトの立ち上げの責任者を務めており、地元の元気プロジェクトの企画にも相当かかわったため、この奈良でどれだけ実践に移して、成果を残すかという点では大きなプレッシャーがあります。会社における日ごろの仕事のなかでも、このロータリーにおける活動においても、このような地域の活性化や健康づくりに少しでもお役に立てるよう、努めてまいりたいです。

以上、菊野君の原稿より。詳しくはホームページの動画をご覧ください。

新入会員卓話

田村 英樹君（新入会員）



皆さん、こんばんは。本年度7月に入会させて頂きました田村英樹と申します。例会では極力皆さんにご挨拶するよう心掛けているんですが、まだご挨拶まだの方はこの場を借りて失礼申し上げます。よろしくお願ひします。

この度は、こんな立派な奈良大宮ロータリークラブに入会させて頂き、本当にありがとうございます。仕事は建設業をしております。仕事内容は土工事いわゆるダンプ・重機等を使っての埋め立て工事など、他ビルの耐震工事・造成工事と色々手がけております。現在、主な現場は喜光寺さんの舍利弗殿の基礎工事や木津川市でフットサル場の建設工事をしております。溝掃除、草刈りから河川工事まで仕事の大小、内容は選ばず幅広く地域に貢献できるよう頑張っております。

それでは、改めて自己紹介を兼ねて私の両親の出身地などを紹介させていただき、私の生い立ちなどから今の自分をご紹介させていただきたいと思います。

父は12年北海道生まれ、場所は函館から日本海沿いに2時間ほど北へ行った海沿いにある北海道爾志郡熊石町という町で生まれ育ちました。漁師町で父の家もニシン、ウニ漁などで生計を立てて暮らしていたんですが父は船酔いが激しく、船の腹に波がタポンタポンと当たる音を聞くだけで酔ってしまうほどなので、漁師を継ぐことなく、内地に出て行ってしまったという笑い話みたいな経歴の持ち主です。

そして、母の方ですが母はぐんと南の長崎県南高来郡という、雲仙普賢岳のふもとの田舎の村で生まれ育ちました。

父と母は北と南に離れていましたが、真ん中の奈良で出会い結婚しました。いつも家族で話題になるのですが、父と母二人の田舎には共通点が多いなあという話題になります。どんなことかと言いますと、大まかに3点ほどございます。

1点目は両方とも第1級過疎地で今はそういう表現しないと思いますが、どちらも本当に田舎なんです。どれだけ田舎かといいますと、日本海、海沿いに家、道。それから山、よく見る海岸線の風景です。まだ畠が600坪くらい残っているんですがほったらかしです。土地の評価額を聞くとがっかりです。ただ同然です。

海沿いに立つ家も誰も住まないので、管理が大変なので役場に畠・土地・建物町に寄付しますので「もらってもらえないですか？」とお願いに行くと「又奥尻沖地震の時みたいに津波が来るかもしれないし、こっちも管理に費用がかかる。」と言って断られました。家が古くなろうがどうなろうが、そのままにしておけば少しでも固定資産税等の税収が少なくともあるので役所としては、そっちが得なのですね。

山の中腹の墓にお参りに行くにも熊出没情報あれば、鉄砲を持ったマタギの人についててもらって墓参りするっていうのもまれにあります。

母の方も島原半島をぐるりと回って走っていた島原鉄道が廃止され、雲仙普賢岳の数回にわたる噴火による移住などで過疎化がより進んでいる感じです。

2点目は食べ物です。すごく田舎ですが、どちらも食べ物が抜群に美味しいんです。まことに父の方ですが、私が10才のころだったと思います。裏がすぐ海で岩場があり、沖へほんの5mもいけばぐんと深くなっています。そこには、うじやうじやと昆布が生い茂っており、こんぶを引っ張って潜ると大きなバフンウニがごろごろ取れます。それをパカッと割って中の身をぺろっと食べた味は、未だに忘れられません。函館、札幌のすし屋で食べてもあの味にはかなわないんです。今は漁業権、密漁禁止で、もうあんなことはできません。でも、あの味は何年たっても覚えております。又食べたいです。

次はイカです。真イカっていうスルメイカなんですけど、夜海を見るとイカ釣り船の漁火が見えます。その採れたイカを朝の6時くらいに「イカだ～、イカだ～。」と言って売りに来ます。その朝のイカ刺しも最高なんです。北海道の人は「イカは朝食うもん。」だって言いますからね。夜はまずくて食べられないと言って食べません。夜食べても十分美味しいんですがねえ。

その他、お盆過ぎに行くと朝とれたてのトウモロコシ、ジャガイモ、アスパラ。皆さんご存じの通り、北海道全域にわたって食べ物は美味しいです。

母の方はさらっと紹介しますが雲仙のふもとの山ですけど、少し下って海に出るとそこは島原湾と言って対岸は熊本の天草という所で、皆さんご存じとは思いますが、とても魚の美味しい所です。こっちで言うガシラ、九州ではアラカブと言うんですが、スーパーでパック詰めされたアラカブが口をパクパクしているのを売っています。シマアジ、ハマチ、ブリとみな新鮮です。カステラも有名です。函館の塩ラーメン、長崎ちゃんぽん、どっちも美味しいです。

3点目はどちらの田舎にも有名人がいます。有名人かどうかはわかりませんが、父の実家の2軒隣りが俳優の伊吹吾郎の家でした。伊吹吾郎がわかりますかね。若い方は知らないと思いますが、水戸黄門の格さん役が有名ですかね。最近では「麒麟が来るの」太原雪斎(たいげんせっさい)役で活躍されております。父はよく年下の伊吹吾郎さんとウニを取ったり、冬に竹スキーをして遊んだらしいです。よければ、スマートフォンで検索していただければ出てくると思います。

母の方は実家の50m先に北村西望さんの家があるんです。「北村西望って誰?」という方もおられると思いますが、長崎の平和祈念像を作った彫刻家であります。今はその跡地に西望記念館が出来ております。たまに観光バスが来て見学人で賑わっています。

両親の田舎の共通点を話してきましたが、両親はそんな故郷を出て奈良の今在家というまちの建設会社で出会い私が誕生します。東之阪のアパートで3歳頃までいて、そこから奈良坂の長屋に引っ越ししました。貧しかったのですが幼稚園は東向き商店街の中にある親愛幼稚園に通っていました。奈良に来て間もない商売したての貧しい時期に、私立の幼稚園に通わさせていただき感謝しております。周りの友達の家は奈良の名士さんが多かったです。餅井殿商店街、東向き商店街。奈良まちの人気が多かったです。

勤めていた建設会社が倒産し、今の会社がある四条大路に引っ越しました。ここで結構いじめられ、父はダンプを2台持つて建設資材販売、運搬業を始めました。「ここにダンプとめるな。」、「そこは耕運機走るから、あかん。」「家の子は、こども会は入られない。」とか、夏休みの宿題に神社で写生をしていたら「入ったらあかん。」とか言われ追い出されました。母は「借家の人は財産守る苦労がないから楽やんかあ。」とか嫌味言われたり、私も妹を連れ喧嘩、悪さばかりしていました。ここで住んでいた10年間が、今まで一番ハングリー精神があったように思います。

母の「何くそ。」という頑張りで押熊町に土地を買い、埋め立て、そこに今の家があります。大和中央道ジャパンから東へ入った田んぼの多いとこです。「田村アホやで、押熊ってあんな田舎に家建てて、熊出るん違うか?」

実際、平城山大通り、大和中央道もない平城駅から寂しい1本道しかありませんでした。それでも44年たち変わってきました。平城山大通りがき、当時は道が出来ても車が通らないので車道でスケートボードをしていたのがスーパー・薬局・飲食店など店舗も増え、渋滞もするほど道路の需要も増えました。家の前の道も40年前は下着1枚で犬を散歩しても人に会わなかつたんですが、今は下着姿で道にでたら「変質者がおるつ。」とすぐ通報されるような街に変わつきました。

何よりも私より後に引っ越してこられたメンバーの石野さんが「おーい。」って呼べば聞こえるほど、近くに住んでおられたのがびっくりしました。近くにおられても家の前を歩いてもお見掛けしたこともなく、回覧板等、班も違うこともあり、ここでお会いしたのが初めてでした。入会の時の新入会員ガイダンスをしていただいたのも石野さんでした。石野さんこれからもご近所でよろしくお願ひします。押熊町の人はみな親切でよそ者いじめもされることなく、20歳になれば「町内の自警団に入ってくれ。」「夏祭りを手伝え、秋祭りの神輿かついでくれ。」「息子たち子供会入ってくれ。」と誘われ、とても仲良くさせてもらっております。

そんなこともあります。自警団から平成7年に奈良市消防団へ入り早25年間務めております。平城地区の方々にも認めてもらい連合会、地域防災活動等、一緒に頑張っております。奈良市消防団ですが、当クラブメンバーの

堀内さん、塚本さん、稻葉さんも一緒に頑張っていただいております。また、皆で消防団活動、取り組んでます勉強会など発表する機会があればしたいと思います。

先日、奈良県の魅力度ランキングが7位でしたが、ロータリーの活動を通じて6位、5位と上がっていくようなお手伝いをできたら嬉しいと思っています。これからもしっかりと頑張っていきたいと思いますので、よろしくお願ひします。本日は例会の卓話という貴重な体験、噛み噛みではございましたが、本当にありがとうございます。こんなこともあるうかと思って、西大寺のウェルネスいう所で話し方教室に半年間勉強してたんですけど、まったく役に立ちませんでした。また、これからもよろしくお願ひします。以上です。

以上、田村君の原稿より。詳しくはホームページの動画をご覧ください。

謝 辞

多田会長



田村さん、本当に楽しい卓話ありがとうございました。話足りないのかなと、話し方教室に行かれてるので、もっと話す機会を与えてあげたいなと思っております。

菊野さんには私共の地元応援募金という寄付行為をされて、立派な奉仕活動をされているので私たちロータリアンも負けずに頑張らんといかんという気が致しました。

本日の卓話、ありがとうございました。

ニコニコ箱

本日計 30,000円 累計 852,000円

多田 実 君 菊野和洋さん、田村英樹さん、本日の卓話楽しみにしております。
宜しくお願ひします。

水野憲治 君 菊野さん、田村さん、本日の卓話宜しくお願ひします。
楽しみにしています。

武藤廣茂 君 多田会長、水野幹事様 先日の会長・幹事会おつかれ様でした。
お蔭様で楽しい会合になりました。

佐川 肇 君 10月16、17日の漢国(カンゴウ)神社の例大祭には多くの方からご寄附頂
き有り難うございました。お蔭様で無事終了しました。

谷川千代則君 増井さんのお父様、太政大臣の大役おつかれ様でした。
菊野さん、田村さん、本日の卓話よろしくお願ひします。

堀内眞治 君 田村さん、菊野さん、卓話楽しみにしています。

ニコニコ協力 井口善弘 君 城田真平 君 平方貴之 君 南谷正仁 君

◆例会変更・休会のお知らせ◆

〈大和郡山ロータリークラブ〉

11月23日（祝・月）定款第7条第1節(C)による休会

〈奈良西ロータリークラブ〉 9月3日（木）より例会再会

11月19日（木）ガバナー公式訪問（平城京RC合同）

11月26日（木）定款細則8-1-Cによる休会

12月17日（木）第2回家族親睦移動例会の為、例会会場変更

※いずれもビジター受付は行いません。

〈平城京ロータリークラブ〉

11月19日（木）例会場変更

奈良西ロータリークラブ合同 ガバナー公式訪問のため
例会場を奈良ロイヤルホテルへ変更いたします。

※ビジター受付は行いません。

〈橿原ロータリークラブ〉

11月13日（金）定款8条1-Cによる休会

〈やまと西和ロータリークラブ〉

11月17日（火）会員のみの例会

11月24日（火）定款第8条第1節-Cによる休会

※いずれもビジター受付は行いません。

〈やまとまほろばロータリークラブ〉

11月26日（木）定款第8条第1節Cによる休会

※ビジター受付は行いません。

2020年11月より下記新例会場に変更

【新例会場】三輪山会館

〒633-8538

奈良県桜井市三輪1422

TEL0744-42-6633

今後の予定

11月17日 クラブ討論会（ロータリー財団担当）

11月24日 卓話：豊田 ふみよ様

奈良県立医科大学准教授

12月1日 卓話：未定、年次総会

12月6日 第2回家族親睦例会（JWマリオットホテル奈良（吉野Ⅰ、Ⅱ））